

前田博史天然写真展

幻生林

四国「正統派の森」へ

森に恋焦がれた天然写真家の三十余年の集大成

Old Growth Forest
Shikoku's genuine forests

2026 (令和8年) 2.7 [土] ⇨ 2.23 [月・祝]

【写真家 在館予定日】

2月：7 [土] / 8 [日] / 11 [水祝] / 14 [土] / 15 [日] / 21 [土] / 22 [日] / 23 [月祝]

会 場：2F エントランスホール 時 間：午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分迄

主 催：  高知県立歴史民俗資料館 (公益財団法人 高知県文化財団)



よさこい高知
文化祭2026

応援
事業





森に漂う重厚で温かな気配を感じたくて四国の幾多の森を訪ねてきた。

人の手が入らない奥山の、太古からの遺伝子を引き継ぐ由緒正しい原生の森を憑かれたように彷徨い歩き、気がつけば30数年が経った。

戦後の国の森林政策によって伐倒されてきた奥山の森は、今では僅かな面積が点在するのみである。そしてその森が今、気候変動の影響に晒されている。乾燥を続ける森の表土は水分を保つことができず堅固になり、数百年を生きたであろう融通の効かない老木は、呼吸困難と水分不足に喘いでいる。あと数十年もすると、この原生林たちは幻のように消えて無くなるのではないか。そんな杞憂が心に浮かんだりもする。僅かばかりの四国の原生林。そこに息づく多様な命の躍動に対峙し心を解き放つ時、それは自身にとってこの上もなく幸福の時間である。

森に行んで樹冠を見上げる。

渡る風が梢を揺らす音を聞きながら、いつまでも永遠に、この至福の場所が循環するようにと願う。

天然写真家



Hakushi Maeda プロフィール

1961年高知県高知市に生まれ、現在も在住。自然の理力・循環と調和、そこに在る気配ごと天然色を写し届ける。四国山地を軸に、白神山地や、屋久島・大山、土佐湾を撮影。スコットランドフインドホーン財団ダイアリー「Trees for life」連年採用(2003~2009)

写真展開催

エプソン「ギャラリーエプサイト」東京写真月間2010招待作家として『命の起源』開催。富士フィルムフォトサロン東京・大阪(2016)オリンパスギャラリー東京・大阪(2017)高知県立歴史民俗資料館にて写真展開催。(2006~開催。2008~2026は連年開催)ほか

主な著書等

【新刊】幻生林【四国正統派の森へ】(リーブル出版)

四万十川 水の生いたち・高知山と森の物語(共に高知新聞社)、地音【ジオ】約束の地(南の風社)※第57回高知県出版文化賞受賞、北川村モネの庭15周年記念写真集「四季彩」(リーブル出版)

主な写真掲載先

家庭画報(国際・国内)、婦人画報、森の本(角川書店)、ことのはシリーズ「花とみどりの/水の/自然の/音の」(幻冬舎)、月に恋(PHP研究所)、四国花の山へ行こう・花もよう(高知・愛媛・徳島新聞社)、野田知佑の川遊び学校(小学館DVD)ほか

2026 2.7 土 ⇨ 2.23 月・祝
(令和8年)

【写真家 在館予定日】

2月: 7 土 / 8 日 / 11 水祝 / 14 土 / 15 日 / 21 土 / 22 日 / 23 月祝

会場: 2F エントランスホール 時間: 午前9時~午後5時 ※入館は午後4時30分迄
写真展は「観覧無料」です。他の館内展示をご覧の場合は要観覧料(受付2F)

主催:  高知県立歴史民俗資料館(公益財団法人高知県文化財団)

〒783-0044 高知県南国市岡豊町八幡1099-1 ☎088-862-2211 FAX.088-862-2110

https://www.kochi-rekimin.jp E-mail: rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp

